

第16回
コンサート

東京
21
合唱団

深き悩みより、
われは御名を呼ぶ

[出演]
指揮

佐々木正利

オルガン

飯 靖子

ソプラノ

藤原優花 中野繭子

アルト

新宮央子

テノール

鳥海 寮

バリトン

田中雅史

ヴァイオリン

椛島大樹 奈須田 弦

ヴィオラ

飯 顕 杉浦 文

チェロ

村井 智

コントラバス

白尾祐典

フルート

福島さゆり

オーボエ

岡村彩香 山館兄孟

Program

深き悩みより 《讚美歌21》より

深き淵より我汝を呼ぶ M. R. ドラランド
De Profundis clamavi / M.R. Delalande

深き淵より我汝を呼ぶ モーツァルト (G. ロイター)
De Profundis clamavi Kv. 93 / W. A. Mozart (G. Reuter)

深き悩みの淵より、われ汝に呼ばわる J. S. バッハ
Aus tiefer Not schrei ich zu dir BWV38 / J. S. Bach

2022 年

11月18日 金

19:00 開演
(開場 18:30)

日本キリスト教団 霊南坂教会

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目14番3号

東京メトロ南北線 六本木1丁目駅下車 徒歩5分

東京メトロ銀座線 溜池山王駅下車 徒歩6分

東京メトロ日比谷線 神谷町駅下車 徒歩8分

チケット料金

1,000 円【全席自由】 ※当日券あり

東京 21 合唱団

『讃美歌 21』CD シリーズ最終巻、第 10 巻『こころを一つに』（ビクターエンターテインメント、日本基督教団出版局共同制作）の録音のため、教会の礼拝で実際に讃美歌を歌っている者たちで結成された合唱団を前身とし、2002 年 6 月発足。佐々木正利氏・飯靖子氏を指導者として、各地の教会での奉仕や年 1 回の演奏会等の活動を行っている。

指揮 佐々木正利

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程及び博士後期課程修了。1980～82 年デットモルト北西ドイツ音楽大学に学ぶ。1973 年バハ「クリスマス・オラトリオ」の福音史家で楽壇デビュー以来、国際的バハ歌手として数々の舞台に出演。特に 1980 年ウィーン楽友協会での「マタイ受難曲」や 1985 年ザルツブルク音楽祭での「マニフィカト」等では「世界最高のバハ歌手の一人」と絶賛された。またライブツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団、NHK 交響楽団など内外のトップオーケストラと多数共演。ライブツィヒ聖トマス教会聖歌隊、ベルリン RIAS 室内合唱団などの世界的合唱団の演奏会でもソリストを度々務め好評を博した。合唱指揮者としても、盛岡バハ・カンタータ・フェライン、岩手大学合唱団、仙台宗教音楽合唱団、東北大学混声合唱団、岡山バハ・カンタータ協会、東京 21 合唱団、山響アマデウスコア、バハ・アンサンブル富山、熊友会ヴォーカル・アンサンブルなどで指揮者を務め高く評価されている。二期会会員（バハ・パロック研究会講師）。現在、岩手大学名誉教授。

オルガン 飯靖子

桐朋学園大学ピアノ科卒業、国立音楽大学大学院オルガン科修了。ピアノを野辺地勝久、高良芳枝、オルガンを吉田實、左近和子、チェンバロを鍋島元子、作曲を末吉保雄の各氏に師事。8 回にわたり渡独しオルガンを H. ケストナー、W. シェテリヒの各氏に師事。ソロ活動のほか、室内楽や宗教曲のオルガンパート、合唱伴奏、新曲演奏など幅広い分野で担当。日本基督教団霊南坂教会オルガニスト・聖歌隊指揮者、元青山学院女子短期大学教授、日本基督教団讃美歌委員会委員。日本オルガニスト協会会員。東京 21 合唱団音楽監督。キリスト教放送日本 FEBC「主に向かって歌おう」パーソナリティー。

ソプラノ 藤原優花

岩手県出身。岩手大学を卒業後、東京藝術大学声楽科を経て現在同大学院声楽専攻修士 1 年次に在学中。第 11 回東京国際声楽コンクール大学生の部第三位。東京国際芸術協会新人演奏会にて優秀新人賞受賞。モーツァルト『レクイエム』など宗教曲のソリストを務める。声楽を佐々木正利、平松英子、菅英三子の各氏に師事。

ソプラノ 中野繭子

福島県本宮市出身。福島西高等学校卒業、岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業、同大学院教育学研究科音楽教育コース修了。声楽を松本美香、佐々木正利、伊原直子の各氏に師事。これまでに合唱団体等で活動するほか、演奏会のソリストとして出演している。盛岡バハ・カンタータ・フェライン、グルッペ・ベツヒライン、東京 21 合唱団に所属。

アルト 新宮央子

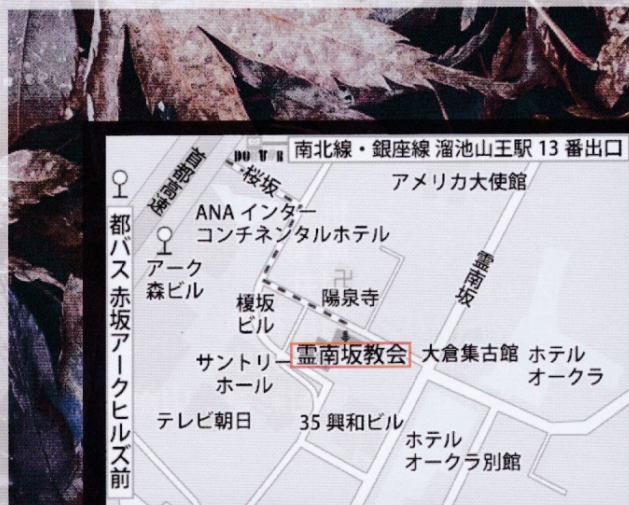
岩手大学教育学部卒業、同大学大学院修了、東京芸術大学声楽科卒業。宗教音楽を中心に多数ソリストを務める。musica corso Internazionale di canto、ミュージックキャンププラハにおいてディプロマ取得。第 27 回ブルグハルト国際音楽コンクール 5 位入賞（1～3 位なし）。これまでに声楽を佐々木正利、寺谷千枝子、慶児道代、小川明子の各氏に師事。日本音楽表現学会会員。東京 21 合唱団コンサートミストレス。

テノール 鳥海寮

東京学芸大学大学院修士課程修了。宗教曲の歌手として、バロックから近現代の宗教音楽作品でソリストとして起用され定評を得ている。特にバハ作品の歌唱が多く、「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」の福音史家役に冴えを見せている。声楽を徳永ふさ子、佐々木正利、高橋修一、横山和彦の各氏に、発声を故森晶彦氏に師事。現在、サレジオ小学校音楽科教諭。函館グロリア合唱団常任指揮者。東京 21 合唱団コーラスマスター。

バリトン 田中雅史

岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コース卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を中途退学。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻 3 年次に在籍。学内推薦にて 2020、2021 年度公益財団法人野村学芸財団奨励学生。2021 年度「東京藝術大学奏楽堂モーニング・コンサート」にて、G. マーラー『子供の不思議な角笛（抜粋）』を藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。声楽を西野真史、佐々木正利、川上洋司、Nicola Rossi Giordano、永井和子の各氏に師事。



▲霊南坂教会までのアクセス

【お問い合わせ先】
mail: info@21chor.tokyo

